

CISPR シドニー会議 SC-A 報告 (案)

2007/11/28 CISPR 委員会

審議項目	審議内容	我が国の対応	審議結果
1. 開会	9月24日(月)AM9:00 開催		定刻に議長の Heirman が開会を宣言。 AU 国内委員会に感謝の意を表明。 Standards Australia のメンバーが歓迎の挨拶。また、無線 LAN の使い方を説明。
2. 議事次第の確認	a)CISPR/A/747A/DA b)CISPR/A/(Sydney-Secretary)07-01	確認する。	5.9, 5.10 を追加して承認。
3. ストックホルム会議議事録確認	a)CISPR/A/711/RM	確認する。	案どおり変更なしで承認。
4. 組織に関する事項			
4.1 WG member リストの更新	WGメンバーの登録・更新方法の確認 a) IEC エキスパートマネジメントシステム AC/16/2005	報告を聞く。(我が国メンバーが正しく登録されているか確認する。)	WG は個人参加だが、国内委員会による承認と IEC エキスパートシステムからの登録が必要。JTF メンバーも同様。 e-mail アドレスの正確性が重要。(連絡がとれなくなる) Attendance list の回付が行われた。
4.2 SC 文書のコメントの提出に関する議論	文書に対するコメントの提出方法に関して確認する。 a)FORM 8C(IEC)1998-03-01	報告を聞く。	FORM8 が新しくなっている。Line number & Project number が追加された。(新しい Form を使うように、また、編集が大変となるので Form を変えないようにとの注意があった。)
4.3 CISPR/A の次期議長とセクレタリ	a)CISPR/A/740/Q b)CISPR/A/749/RQ	次期議長として、b)の結果に従って、Mr.Stecher (独、R&S) が提案される予定。我が国は Schaefer 氏を指名した。	Mr.Stecher (独、R&S) が指名された。(但し、今回は EMC Europe のため不在。) Schaefer は secretary を引退し、Oct.1 から US から新たな Secretary が就任する予定。Steve Leitner (Underwriters Laboratories)。
5. SC/A の手続きレビュー			
5.1 IEC 規格の新規課題、改訂、修正、メンテナンスに関する手続き	a) 2/AC/2007: "Personal details on the IEC website" b) 15/AC/2007: "Comments on drafts (CD and DC), Form Comments and	報告を聞く。	a) 2/AC/2007 個人データは Web の制限エリアのみに記載されており、アクセスにはアカウント

	<p>Q documents” c) 9/AC/2007: “Important improvements to IEC Publications” d) CISPR/A URL on IEC website (www.cispra.iec.ch)</p>		<p>トが必要となった。 b) 15/AC/2007: Form8 で、No comments は 提案の内容に満足している “satisfied with the contents”. という意味であることが強調された。 c) 9/AC/2007 2カ国後併記の規格の形式が変更となり、英語が先、仏語が後となっている。インターレース（1ページごとの英仏語表記）は行わない。 d) CISPR/A URL on IEC website 必要性に関して、挙手の結果、全員一致で維持することに決定された。</p>
5.2 program of work の更新	CISPR/A/757/PW	報告を聞く。	すべてのプロジェクトが議事に含まれていることを確認。
5.3 CISPR16 の発行状況	<p>前回会議以降の発行状況が紹介される。 a) CISPR 16-1-1 Ed.2 Amd.1 (2006-09) b) CISPR 16-4-3 Ed.2 Amd.1 (2006-10) c) CISPR 16-4-5 Ed.1 (2006-10) d) CISPR 16-3 Ed.2 Amd.2 (2006-11) e) CISPR 16-1-4 Ed.2 (2007-02) f) CISPR 16-4-1 Ed.1 Amd.2 (2007-05) g) CISPR 16-1-1 Ed.2 Amd.2 (2007-07)</p>	報告を聞く。	紹介のみで議論なし。
5.4 プロジェクトの期限に関する SMB 報告の紹介	<p>a) SMB/3540A/INF:24 ヶ月以内の CDV の完成 b) SMB/3539A/INF: 5年以上の古いプロジェクトの正当化</p>	報告を聞く。	<p>遅れているプロジェクトの確認： ・ CISPR16-2-3 PL を Beekmann -> Viteck(USA)に変更。CDV を年内に作成。 ・ 61000-4-22 FAR Viteck が状況説明。2nd CD がまもなく（10月末に）発行される予定。 ・ CISPR 16-4-1 Ed.2.0 PL を</p>

			Beekmann -> Dunker(独) に変更。 1st CD が 2007.末に完成予定。 事前に WG 文書を回覧すること。 これは 77B との共同作業となっている。 但し SC/A のメンバーは 1 人(Dunker)のみ。 77 からは数名の参加がある。 もっとメンバーが必要である (議長)。 国内委員会で探すことが要請された (2007 末まで)。
5.5 編集委員会の状況	a)CIS/A/631A/INF 文書の editorial チェック及び文法チェックを行う native english check member による委員会の活動報告が行われる	報告を聞く。 編集委員会のメンバー (UK:Alexander(NPL),Carpenter(BT), CA: Mowbray, USA: Hall&Harrington SA: Winter)	Ken Hall が亡くなった。 UK の Alexander は今回来ていないが Active.であるとの報告があった。 US から Ken の代わりに 1 名追加することが報告された (Drew Frana)。
5.6 用語の定義に関するアドホックグループの状況	a)CIS/A/738/INF b)CISPR/A(Sydney-ZA)07-01 E.Winter から活動報告が行われる	報告を聞く。	CISPR-A (Sydney-ZA) 07-01 を説明。 Refereed method, reference method 等を追加する。 INF 文書の及ぶ範囲 CISPR16 のみか CISPR22, TC77 等も含めるか (→CISPR16 のみ) (Action Item) 1. Winter: 現在までのまとめ:10/31 までに INF draft 作成 2. Winter: CISPR16 に入れる計画案を作る 11/30 3. 議長: 他のプロダクト規格に入れるかどうか? Steering Committee で議論
5.7 CO (中央事務局) の最新動向	Ref: a) AC/10/2007 (New Common IEC, ISO, ITU Patent Rights Policy) Dr. Baillif から説明	報告を聞く。	Power Point :IEC-News-Sydney-2007 で説明。 IEC の概要 : 144 国の参加、178 の TC, 9000 人 experts. 5613 Pub. 2006 には 497 の Pub を発行

			<ul style="list-style-type: none"> ・規格の作成リミット 12months CD 24 months CDV 33 months FDIS 36 months IS Max 5 years.(-> justification が必要) ・ AC/37/2006 System approach. Coordination between TC's is necessary. EX. Building, Brake system. AC/10/2007 Patent Rights Policy ・ AC/27/2007 Transitional period for the adoption by member countries of IEC safety publications. Use of transitional periods is optional and only for safety pub.
5.8 CISPR 総会への対処のレビュー —	a) AC/28/2003	報告を聞く。	<p>Heirman による総会の状況説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Alternative test method:ISO/IEC 指令では、製品委員会は Refereed (Reference) method を決めることを規定している。総会ではこれを緩和するかどうかの結論は得られず、次期総会まで延期された。DC を回付して Reference method を決める必要のある分野を調査することとなった。 ・ IEC61000-4 シリーズ (イミュニティ) の Uncertainty の基礎に関する提案 TC77 との協調を図る。16-4-1 の情報は 61000-4-X に入れたい。エキスパートの追加が必要。 ・ 総会の開催 3年ごと→毎年開催。
5.9 Ken Hall への弔辞		報告を聞く。	<p>ガンで死亡。黙祷をした。 家族のために kenHall_Stories@hotmail.com にメールを出して欲しい。</p>
5.10 1906 賞の受賞者		報告を聞く。	Schaefer, Stecher が受賞。

6. CISPR/A プロジェクト	CISPR/A/757/PW 活動中の project の状況、参加者、PL、所属 WG、スケジュールを確認する。	確認する。	議長はエキスパートの追加が必要と述べた。
6.1 WG/1 関連			
6.1.1 CISPR16-1-5 Amd.1 Ed. 1.0 アンテナ校正	a) CIS/A/644/CD b) CIS/A/682/CC Heirman からの報告を受け、今後のプロジェクトの進め方を議論する。 (概要) 妨害波測定用アンテナの校正法を既定	US,UK,Aus,DE,Japan から成る ad-hoc メンバーで審議・2ndCD 作成を進めている。 CC を踏まえて 2nd CD 化を推進する。	Schaefer が現在の状況を説明。 CISPR/A/WG1(Adhoc_Ant Cal)06-01 が参考となる。 CD 案を作って WG1 に配布。その後 NP を発行。 杉浦先生が PL に就任。
6.1.2 CISPR16-1-4 Amd.3 f3 Ed.1.0 1-18GHz 帯の試験場の適合性	a) CIS/A/710/FDIS b) CIS/A/722/RVD CISPR 16-1-4 Ed.2 (2007-02)の発行が報告される。 (概要) 1-18GHz の妨害波測定用試験場の要求条件と適合性試験法 (SVSWR 法)	報告を聞く。	議論なし。プロジェクトは終了。
6.1.3 CISPR16-1-1 Amd.2 Ed.2.0 デジタル通信業務への影響に関連する妨害の重み付け	a) CIS/A/737/FDIS b) CIS/A/751/RVD CISPR 16-1-1 Ed.2 Amd.2 (2007-07)の発行が報告される。 (概要) RMS-AVE 検波器の要求条件。	報告を聞く。	2007-07 発行済み。プロジェクトは終了。
6.1.4 CISPR 16-1-4 Amd.1 f1 Ed. 2.0 コモンモード吸収装置(CMAD)の確認	a) CIS/A/716/RVC b) CIS/A/750/FDIS c) CIS/A/760/RVD PL (Lyser の後継者 Medler) より報告を受ける。 (概要) CMAD の特性の測定方法を規定。	FDIS(2007/9/7 締め切り)の投票結果が報告される予定。 報告を聞く。 状況を見て対処する。	FDIS は承認された。 11 月 15 日に IS が発行される予定。

<p>6.1.5 CISPR 17 Ed.2.0</p> <p>CISPR 17 のメンテナンス</p>	<p>a) CIS/A/739/MCR b) CIS/A/755/CD</p> <p>PL より状況の報告を受ける。 (概要) 各種 EMI フィルタの特性（挿入損、インピーダンス、S-パラメータ）の測定法</p>	<p>CD で残された課題（不確かさ）等について、Ad-hoc の概要説明を行う。</p> <p>改訂を推進する立場で積極的に寄与。</p>	<p>Ad-hoc meeting の状況を説明。 Annex A（不確かさ）は次の CD で追加する予定。</p>
<p>6.1.6 CISPR16-1-4 Amd.2 f2 Ed.2.0</p> <p>放射電界強度測定のためのリファレンスの定義</p>	<p>a) CIS/A/750/FDIS b) CIS/A/760/RVD</p> <p>PL より状況の報告を受ける。 (概要) 30-300 MHz の妨害波測定の基準がアンテナ（ダイポール）から電界に変わったことによる、16-1-4, 16-4-2, 16-2-3 の改訂。</p>	<p>CIS/A/750/FDIS が投票中。（締め切り：07-9-7）</p> <p>投票結果が報告される予定。 我が国の回答に沿って対処。</p>	<p>承認された。11 月 15 日に IS が発行される予定。</p> <p>CISPR/A/714/DC でコメントを求めた件（A/667/CDV の 4.4.2.c)節に 4.4.2b)3)にあるアンテナ利得の代替基準を追加すること）も IS に含まれている。</p>
<p>6.1.7 CISPR16-1-4 Amd.3 f3 Ed.2.0</p> <p>CMAD の仕様</p>	<p>a) CIS/A/705A/CC b) CIS/A/754/CDV</p> <p>PL より状況の報告を受ける。 (概要) 妨害波測定時のばらつきを抑えるための CMAD の仕様(S11, S21 で規定)</p>	<p>CIS/A/754/CDV が投票中。（締め切り：08-1-11）</p> <p>CD に対して日本からは、規定は時期尚早、仕様の根拠が必要とのコメントを提出済。</p> <p>審議されない予定。</p>	<p>議論なし。</p>
<p>6.1.8 CISPR 16-1-1 Ed.3.0</p> <p>適合性測定におけるスペクトラムアナライザの使用</p>	<p>a) CIS/A/736/MCR b) CIS/A/764/CD</p> <p>PL より状況の報告を受ける。 (概要) 20Hz 以下のパルス応答に関して、CISPR16-1-1 の規定を満足しない妨害波測定器を条件付で使用させることの是非。我が国は反対したが、賛成多数で了承。CISPR16-1-1 にプリセ</p>	<p>正式な Project として発足。 CD 作成に寄与する立場で臨む。</p>	<p>b)が回付中（2007-12-14）のため議論なし。</p>

	レクタがないSAの使用についてのガイダンスを作成中。		
6.1.9 CISPR 16-1-4 Amd.2 f2 Ed.2.0 RSM（サイト参照法）の導入	a) CIS/A/721/INF b) CIS/A/723/NP c) CIS/A/746/RVN d) CIS/A/7xx/CD PL（Kriz）より状況の報告を受ける。 (概要) COMTS の試験方法である NSA 法の代替法としての RSM 法の追加提案。	我が国は導入に賛成の立場。 CD 作成に寄与する立場で臨む。	Ad-hoc の結果を Kriz が説明。 10 月末に CD を出す予定。 (2008 年から RRT を予定)
6.1.10 CISPR 16-1-4 Amd.2 f1 Ed.2.0 1GHz 以上のセットアップテーブルの評価	a) CIS/A/745/MCR b) CIS/A/753/CD PL（Kriz）より状況の報告を受ける。 (概要) 1GHz 以下の評価方法に準じている。 台があるときと無いときの SA の差で評価。結果を不確かさに算入すること。	CIS/A/753/CD が回付中。(締め切り：07-10-19) 基本的に賛成。 改良のため、コメントを提出予定。 審議はされない予定。	議論なし。
6.2 WG/2 関連			
6.2.1 CISPR 16-4-5 TR Ed. 1.0: 代替試験法の使用に関する条件	a) CIS/A/665/DTR b) CIS/A/685/RVC CISPR 16-4-5 TR Ed. 1.0 (2006-10) の発行が報告される。 (概要) 代替測定法(alternative test methods) を用いた場合の許容値を導出する手続き(付則)を規定。	報告を聞く。 日本は CISPR/A において alternative の定義が未定/検討中のため、本用語の削除を要求し反対。	議論なし。プロジェクトは終了。
6.2.2 CISPR 16-4-1 Amd.2 TR Ed.1.0 放射測定の適合不確かさ	a) CIS/A/713/DTR b) CIS/A/729/RVC CISPR 16-4-1 Amd.2 TR Ed.1.0 (2007-05) の発行が報告される。 (概要)	報告を聞く。 TR であり、基本的に賛成。	発行された。プロジェクトは終了。

	30-1000 MHz の SAC 及び OATS での放射妨害波測定の不確かさの記述		
6.2.3 CISPR 16-2-1 Amd.2 Ed 1.0 伝導妨害波測定法の修正	a) CIS/A/732/CDV b) CIS/A/761/RVC PL (Stecher) より進捗状況の報告を受け、プロジェクトの進め方を決定する。 (概要) 測定不確かさの検討結果を考慮に入れた伝導妨害波測定法の修正等。セットアップのガイドライン (付則 E) の追加。	現在 CIS/A/732/CDV 投票中。 (2007-8-17 締め切り) 投票結果の報告を聞き、状況を見て対処する。 日本コメント: 基本的に賛成。エディトリアルコメントを提出。	b)のうちの主要なものについて議論。 前回、投票の結果 Meandering の関係は FDIS から除くこととなったが、現在の版で、関連する図が記載されている。→ 図は、そのままとするが、文章では引用しないことにする。 CIS/A/761/RVC を修正する。
6.2.4 CISPR 16-2-3 Amd.1 Ed.2.0 1GHz 以下の放射妨害波測定の測定量の追加及びそれに関連する 7 章の改訂	a) CIS/A/731/CC b) CIS/A/7XX/CDV PL (Beeckman) より進捗状況の報告を受け、プロジェクトの進め方を決定する。 (概要) 妨害波の測定量を真の電界強度としたことに対応する改訂。	CDV 発行予定。 報告を聞き、712//CD に対する日本のコメント(基本的に賛成)に基き対処する。	Clerk Viteck が新しい PL となった。 December 1, 2007 に CDV を発行する。
6.2.5 CISPR 16-3 Amd.2 f1 TR Ed.2.0 デジタル通信業務への影響に関する重み付けの project の背景資料	a) CIS/A/662/DTR b) CIS/A/678/RVC CISPR 16-3 Amd.2 f1 TR Ed.2.0(2006-11)の発行を報告。 (概要) RMS/平均値重み付け検波器の背景資料	報告を聞く。	議論なし。プロジェクトは終了。
6.2.6 CISPR 16-3 Amd.2 f2 TR Ed. 2.0: CMAD の背景資料	a) CIS/A/659/DTR b) CIS/A/681/RVC CISPR 16-3 Amd.2 f1 TR Ed.2.0(2006-11)の発行を報告。	報告を聞く。	議論なし。プロジェクトは終了。

	(概要) CMAD の測定法の背景資料		
6.2.7 CISPR 16-4-3 Amd.1 TR Ed. 2.0: 試験サンプルの許容確率	a) CIS/A/666/DTR b) CIS/A/691/RVC CISPR 16-4-3 Amd.1 TR Ed. 2.0 (2006-10) の発行を報告。 (概要) 字句修正と、新しい Annex を追加して、80%/80%ルールの説明を記載。	報告を聞く。	議論なし。プロジェクトは終了。
6.2.8 IEC 61000-4-22 Ed.1.0 全無反射室(FAR)による放射およびイミュニティ測定 SC77B との J T F	a) CIS/A/704/CD b) CIS/A/720A/CC c) CIS/A/763/INF PL より進捗状況の報告を受ける。 (概要) CISPR-16-1-4 および IEC61000-4-3 で個別に規定されていた FAR の設備要求と、CISPR-16-2-3 および IEC61000-4-3 で個別に規定されていた試験方法を統一し、整合させる。	ベトナムで開催された JTF の報告、2ndCD の作成状況を聞き、状況を見て対処する。 Vitek をプロジェクトリーダーとした JTF。メンバーは CISPR から Alexander(UK),Gorini(Italy),Kappel(NZ),Ryser(Swiss)等、77B からは平田、Heddelich が我が国より参加している。	5.4 で議論済み。 Viteck が 10 月末までに CD を発行。
6.2.9 CISPR 16-4-1 Ed. 2.0 適合性判定における不確かさの取り扱い	a) CIS/A/702/MCR b) CIS/A/719/Q c) CIS/A/730/RQ b) CIS/A/7xx/CD PL (Beekmann) より進捗状況の報告を受ける。 (概要) 適合性判定における EMC 適合不確かさの取り扱いの記述を追加するもの。資料 a)に対して、米・英が反対したが b)の投票の結果、プロジェ	CD がまもなく発行される予定。 報告を聞き、状況を見て対処する。 (審議されない場合もある)	5.4 で議論済み。 Dunker が PL。2007 末までに CD を作成。

	クトは成立。		
7. WG 報告	議事次第でカバーしていない事項		
7.1 Working Group 1 EMC 測定器の仕様	a) CISPR/A/WG1(Secretary)07-02: London meeting minutes ロンドンで開催された WG1 の報告・ 確認。	報告を聞き、状況を見て対処する。	Schaefer が報告。 6.1 で議論済み。 Set-up table. RSM. CMAD. CISPR17 等の Early stage の課題がある。
7.2 Working Group 2 EMC 測定法、統計的手法、不確か さ	a)CISPR/A/WG2(Secretary)07-02: London meeting minutes ロンドンで開催された WG2 の報告・ 確認。	報告を聞き、状況を見て対処する。	Golini が報告。 6.2 で議論済み。 1GHz の測定法修正 (Height Scanning) について検討中。RRT を実 施中であり、まもなくドラフト CD を作 成中。16-4-2 の修正についても検討中。 Decoupling Factor はキャンセル。 1 GHz 以上の不確かさの検討が重要。 (Heirman のコメント)
8. TC77 との協調			
8.1 協調	a) CISPR/1133/INF Publication および JTF 文書のメンテ ナンスに関する TC77 と CISPR との 状況と合意に関する報告を行う。	報告を聞く。	議長が CISPR 内での JTF 設置・運営の ガイドラインについて説明した。
8.2 JTF の報告	a) TEM Ref a) CISPR/A/762/INF b) 反射箱 Ref a) CISPR/A/734/INF 活動報告を聞く。	報告を聞く。	a) 77B/552/INF: Report of SC77B / CISPR/A JTF TEM Emission and immunity testing in TEM waveguides を schaefer が説明。均一性の決定、プ ローブの校正、測定の不確かさ、用語の 定義について検討中。CD 原案を次回の 会議後 (11 月末) に作成予定。 b) IEC 61000-4-21 Ed.2 - ELECTROMAGNETIC COMPATIBILITY (EMC) - Part

			<p>4-21:Testing and measurement techniques – Reverberation chamber test methods</p> <p>2nd CD を 2008 年の 6 月末に出す予定。 (Kepke) 主な議論は、モード攪拌、放射測定法、シールド効果測定法、語句の修正等である。</p>
9. 他の CISPR 製品委員会との調整			
9.1 一般	a)CIS/A/759/INF		a)は CISPR/A と CISPR/D の間の JTF のルールとして定めたが、これを全ての CISPR 内の JTF に適用するように Steering に提案する。
9.2 CISPR/B	<p>a) OATS や SAC 等の基準試験場における放射妨害波の測定 Ref a) CISPR/A/718/INF</p> <p>b) CISPR11 第 5 版における 1GHz 以上の床置き型装置の測定におけるグラウンドプレーンの使用について Ref a) CISPR/A/756/INF</p> <p>CISPR/B との共同活動の内容について報告し、タスクの指定を適切に行う。</p>	報告を聞き、状況を見て対処する。	<p>CISPR/A/718/INF: =CISPR/B/420/DC: EUTサイズと最小測定距離の判断基準についての CISPR11 第 5 版における提案 →WG2で議論し、本文書に対するコメントを2007末までに準備すること。</p> <p>b) 756/INF: ・ CISPR11 の 1 GHz 以上の測定は GP で行われ(CISPR/B/435/CDV)、CISPR16 が定義する自由空間ではない。 ・ 435/CDV は承認された。A は FDIS 発行を待ち、両小委員会で議論することを推奨する。 → 議長: Steering に提案し、10 月末までに解決をする。</p>
9.3 CISPR/D	<p>a) JTF (Chamber validation methods for test methods defined in CISPR 25) 設立の報告 Ref: a) CIS/A/727/INF b) CIS/A/743/INF</p> <p>b) JTF (FFT-based Emission</p>	CISPR/D から要請のあった 2 つの JTF の設立が報告される。 我が国からもエキスパートを登録しており、必要に応じ寄与を行う。	a)CISPR25 の暗室評価法 Galen – Co-convenor が報告。 CISPR25 の改訂。JTF meeting は 2008 年の初頭に開催。

	<p>Measurement Apparatus – Specification and Application) 設立の報告 Ref: a) CIS/A/728/INF b) CIS/A/744/INF</p> <p>CISPR/D によって行われた対応について報告し、タスクの指定を適切に行う。</p>	<p>報告を聞き、状況を見て対処する。</p>	<p>b)FFT による妨害波測定 Schaefer-Convenor が Ad-hoc の状況を報告。検討ポイントは FFT 方式の測定器を 16-1-1 に入れるとすると何が重要か？また、どんな測定に用いるか？ 今年 12 月にミュンヘンで 2 回目の JTF を開催予定。</p>
9.4 CISPR/F	<p>CISPR/F によって行われた対応について報告し、タスクの指定を適切に行う。</p>	<p>報告を聞き、状況を見て対処する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Deter が A と F の JTF : 30-300 MHz における CDN を用いた照明器具の測定の設立を要請。ドイツの Mr. Nobeit Wittig がコンビーナーに立候補している。 ・ CISPR14 から CISPR16 に、review をして移す。日本からも参加する意思を表明（雨宮さんを指名予定）。 → セクレタリが JTF 設置に関する DC 文書を発行する（2007/10/3）
9.5 CISPR/H	<p>CISPR/H/151/CD に対するコメントの要請。</p> <p>Ref: a) CIS/A/733/DC b) CIS/A/742/INF</p> <p>大規模装置により生じる放射妨害波の設置場所試験については、CISPR16-2-5 TR として技術報告とする。CISPR/H によって行われた対応について報告し、タスクの指定を適切に行う。</p>	<p>報告を聞き、状況を見て対処する。</p>	<p>議長より、b)のコメントにかかわらず、CISPR/H/161/DTR が発行されたとの報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フランスから、コメントが CC に入っていないとの抗議があった。 ・ 米国（Viteck）は、ステアリングで JTF ができるまで DTR の発行を止めることを求めた。 <p>→ 結論でず、ステアリングで議論。 （まず JTF を作って議論する方向）</p>
9.6 CISPR/I	<p>JTF (Transfer of test methods from CISPR 13 and CISPR 22 to CISPR 16-x-y) 設立の報告</p> <p>Ref: CIS/A/725/INF</p>	<p>報告を聞き、状況を見て対処する。</p>	<p>第 1 回の CIS I/CIS A JTF Meeting がロンドンで 2nd April 2007 に開催された。</p> <p>Beniamino Gorini が convener</p>

	CIS/A/752/DC CIS/A/758/INF CISPR/I によって行われた対応について報告し、タスクの指定を適切に行う。		(CISPR/A)、Andy Griffin (CISPR/I) が co-convenor に指名された。
10. 会議の議事次第に載っていない議事録から生じた事項	Attachment B of CISPR/A/711/RM	報告を聞き、状況を見て対処する。	全てのアクションは終了した。
11. その他			
11.1 Mains Decoupling Factor	a) CIS/A/715/NP b) CIS/A/735A/RVN (概要) 人工(的に注入する)コモンモードおよびディファレンシャルモード信号源と模擬無線受信機との間の伝導結合経路の特性を、周波数範囲 2 MHz ~30MHz にわたって評価する際の測定手順を規定するもの。CISPR 16-4-4.の改訂を意図している。	報告を聞き、状況を見て対処する。	メンバーが集まらないため、プロジェクトは不成立。
11.2 1GHz 以上の測定における受信アンテナ走査の導入	a) CIS/A/741/INF (概要) 2, 3個の高さ(できればアンテナをEUT に向ける)での測定が、測定不確かさを減少させるためには望ましいという主張。	方向性としては、数個(最低2個)の高さ、ステップは今後検討するとして Alexander がドラフトをつくり、WG2 メンバーでさらに議論することとなっている。 状況報告を聞く。	WG2 で議論する。 (ad-hoc でさらに議論を行い、来年の春を目処に CD 案を作成)
11.3 測定の不確かさに関する文書に対する連携 -スイスの提案-	a) CIS/A/748/INF TC77 と CISPR/A との議論としたい。	状況報告を聞く。	総会で既に決定した。 TC77 と CISPR/A との JTF で議論する。
12. 次回会議の場所と日程の確認	日本、大阪	報告を聞く。 (状況に応じて会議等の案内・紹介を行う)	簡単な紹介を行った。 20-29 October, 2008
13. 閉会			Heirman が引退の挨拶を行った。 最後に、オーストラリア国内委員会への感謝を述べて閉会した。5:00pm。